

9月定例会 常任委員会の審査

企業会計決算委員会

決算認定3件、その他2件

【委員長】海野庄三 【副委員長】鈴木幸司
 【委員】川窪吉男、石橋広明、萩田丈仁、藤田哲哉、下田良秀、小池智明、鳥居育世、影山正直、小沢映子、長谷川祐司、井出晴美、萩野基行、吉川隆之

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収入及び支出	39億1103万3188円	30億3319万4800円
資本的収入及び支出	8億8864万4456円	31億8597万2587円

◆資本的支出の建設改良費の決算額が、前年度より14億2877万円余増加しているのは、第一次富士市水道事業経営戦略プランの初年度として、重点目標である老朽管更新及び管路の耐震化を、合わせて1万4028メートル余施工したためとのことだが、現在の料金体系では、令和12年度までの目標値の達成が難しいといった財政的課題も顕在化しているようなので、料金改定や起債により、収支バランスの取れた財政運営に努めてほしい。

◆平成30年度の有収率の全国平均は90%、県平均は84.1%となっており、本市の過去3年間の推移を見ても70%程度の低い水準にとどまっているとのことなので、老朽管更新の必要性を市民等に周知しながら、より一層、財源確保や更新の取組に努め、有収率の向上を図ってほしい。

以上の要望の後、全会一致で認定、可決されました。

公共下水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収入及び支出	63億1836万4780円	51億8348万6786円
資本的収入及び支出	15億2358万7470円	43億820万7717円

◆西部浄化センター消化槽浚渫（しゅんせつ）修繕を実施し、民設民営による消化ガス発電事業を、令和3年4月に開始するための準備を進めているとのことである。この新たな事業に期待しているので、適宜、成果を報告してほしい。



西部浄化センターの消化槽と発電設備

以上の要望の後、全会一致で認定、可決されました。

病院事業会計

区分	収入	支出
収益的収入及び支出	146億9969万2924円	149億774万8393円
資本的収入及び支出	5億3358万5000円	10億2013万5958円

◆新病院庁内建設検討委員会では、病院の建て替えについて、周辺自治体病院と機能面の在り方について意見交換をしたほか、建て替えには多額の費用負担が生じるため、一般会計からの繰入れをはじめとした資金繰りについてのシミュレーションを行うなど慎重に検討しているとのことである。しかしながら、現施設では最新の医療機器を導入するスペースがない等、様々な課題が顕在化してきているので、建て替えに当たっては、スピード感を持って今後の方向性を示してほしい。

◆臨床研修センターにおける臨床研修医の受入れ人数が開設当初に比べ増えているのは、医学部に通う五、六年生を対象とした東京都や名古屋市で開催されている説明会に積極的に参加したほか、富士圏域の基幹病院であることにより、様々な症例を扱えることが学生間で広まったことが理由のようである。臨床研修医の受入れは、医師の確保にもつながると考えるため、指導医の確保を含め、現在の受入れ体制を今後も維持できるよう努めてほしい。

以上の要望の後、全会一致で認定されました。

◆昨年度、救急救命士養成研修に2人を派遣し、現在56人が資格を保有しているとのことである。迅速な救命措置が求められる現場では、救急救命士の専門知識が生かされることから、体制を充実するため、救急救命士の養成にさらに力を入れてほしい。

◆吉原第一中学校プールのろ過ポンプを取り替えたとのことである。現在、プールを解体し、小学校等のプールを使用する中学校がある一方で、補修を行って継続使用するところもあり、学校によって対応が異なるため、代替プールや水泳部への対応などの課題を整理し、教育委員会としての統一した方針を示してほしい。

◆子ども会世話人連絡協議会の協力により、ジュニアリーダー養成研修会などを開催し、様々な場面で活躍できるリーダーの養成を目指しているとのことだが、地区によっては活動があまり知られていないようなので、地区での活躍につながるよう、活動の周知に努めてほしい。

◆市立図書館の図書や雑誌等、多くの資料を購入する一方、全体で毎年、金額にして100万円程度の資料が不明となっているとのことなので、資料は市民の貴重な財産との認識の下、危機感を持って不明資料の削減に努めてほしい。

●反対討論

プレミアム付商品券事業は国の事業ではあるが、購入対象が限られた上に申請が必要な方の申請率が32.4%と低く、地域の消費を喚起する目的が達成できたとはいえない。また、職員の過重労働対策面接が147件で昨年度比32件増加したほか、メンタル相談も増加しているなど、意欲的に働ける環境とは言い難い状況であるので、改善を求める。

以上のことから反対である。

以上の要望、討論の後、一般会計歳入歳出決算が認定されました。

特別会計

歳入 542億5771万8749円
 歳出 536億1253万6939円

〔新富士駅南地区土地区画整理事業〕

◆代表的な施策指標の土地区画整理事業進捗率が60.1%となり、新富士駅前にも虫食い状に空き地が目立つようになってきた。



区画整理が進む新富士駅南地区（令和2年1月撮影）

こうした土地は、トレーラーハウスによる飲食店の出店やイベント利用など、暫定利用が可能と考えるので、地権者の意向を踏まえながら、活用に向け検討してほしい。

〔後期高齢者医療事業〕

◆徴収費では、納付書での支払い実績が少ないことなどから、コンビニエンスストア収納代行業務を

実施していないとのことだが、多様な納付方法があることで利便性や収納率向上につながると考えるので、実施に向け検討してほしい。

●反対討論

国民健康保険事業特別会計では、国民健康保険税が新生児にも均等割が課せられるなど、家族が多い世帯ほど負担を重くするものとなっている。支払準備基金の昨年度末残高13億2021万円余を子

供の均等割廃止や保険料減免のために活用する等、生活弱者等の負担軽減に向けた対応を求める。

以上のことから反対である。

以上の要望、討論の後、各特別会計歳入歳出決算が認定されました。

特集

7月臨時会/常任委員会の審査等

9月定例会/常任委員会の審査等

一般質問一覧

特別委員会の中間報告

議会広報委員のページ

特集

7月臨時会/常任委員会の審査等

9月定例会/常任委員会の審査等

一般質問一覧

特別委員会の中間報告

議会広報委員のページ